

東京23区が
見える。わかる。

2024 SPRING

Vol.56

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

四季のあるみんなの公園 もっと知ろう 楽しもう!

公園

- 板橋区…小豆沢公園
- 練馬区…四季の香公園
- 足立区…北鹿浜公園
- 葛飾区…モンチッチ公園
- 江戸川区…行船公園・自然動物園

クマなくさんぽ

- …子どもの成長を見守り支える
江東区こどもプラザ

所蔵資料蔵出し

- …「尾張屋版『江戸切絵図』」



もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

令和5年度第2回全国連携展示 「全国連携で広がる支援の輪～文化・歴史の絆が繋ぐ熊本の災害復興～」

令和5年は、大正12(1923)年に発生し、近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年の節目にあたります。そこで、令和5年度は「災害対策」をテーマとして展示を開催しました。

第2回全国連携展示(令和6年1月10日(水)～2月27日(火))では、平成28年熊本地震発生時における特別区の支援の状況の他、文化と歴史の繋がりにから新宿区・文京区と熊本県・熊本市の4者で、「文化と歴史を縁とする包括連携に関する覚書」の締結をきっかけに、迅速な支援を行うに至った経緯などをパネルで展示しました。また、熊本城をはじめとする復興の現状について、多くの写真を用いて紹介しました。さらに熊本県営業部長兼しあわせ部長のくまモンのパネルや、熊本県のご協力により、新宿区、文京区への支援のお礼である「竹あかり」を移設し、展示しました。展示初日には、くまモンを招いて竹あかりの点灯セレモニーを行いました。

今展示は大規模災害発生時の支援や復興にあたり、平常時の文化や歴史の交流から支援に繋がった例を取り上げました。自治体間の支援や復興に向けた取組みの参考としていただけたことと思います。



竹あかり点灯セレモニーの様子
©2010 熊本県くまモン

主催：特別区長会・公益財団法人特別区協議会 後援：東京都



展示会場の様子
©2010 熊本県くまモン #K36187

こんなことしたよ

(公財)特別区協議会パネル展示 意外と知らない東京23区『特別区』



東京23区
「特別区」の紹介



東京区政会館1階エントランスホールにおいて、特別区紹介展示「意外と知らない東京23区『特別区』」を令和6年3月9日(土)から3月27日(水)にわたり開催しました。

今回の展示では、特別区を知ってもらうきっかけとして、特別区の現在(地域や人口など)、制度(行政区との違いなど)、歴史(特別区の誕生など)をご紹介しました。会場では、新たに作成した「とくべつクマ®」による東京23区『特別区』を紹介する動画の配信も行いました。(裏表紙のQRコードからご覧いただけます。)

交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約11万9千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう!



▶▶ 尾張屋板『江戸切絵図』



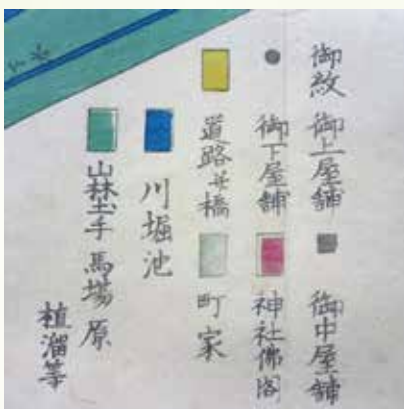
今回ご紹介するのは、江戸時代に尾張屋によって発行された『江戸切絵図』です。幕末の嘉永2(1849)年からシリーズの刊行が進められ、修正を加えながら明治3(1870)年まで刊行されました。本図は江戸の市街や近郊地域を分割して編さんした地図集となっており、大名の上屋敷、中屋敷、下屋敷、神社仏閣、町家、また地名や名所にいたるまで詳細に記載されています。

右は、嘉永3(1850)年に発行された「麴町永田町外桜田絵図」です。この場所は現在の千代田区の一部にあたります。

江戸城の南側で、大きな大名屋敷が立ち並んでおり、桜田門の近くには上杉家、松平家、井伊家などの上屋敷(大名やその家族が居住した屋敷)が見られます。地図右下の「日吉山王大神現社」は、赤坂にある日枝神社で、現在も同じ場所にあります。



尾張屋の『江戸切絵図』の特徴は、多色刷りで色鮮やかな絵図であることです。神社仏閣は赤色、道路や橋は黄色、町家は灰色、川や堀などの水地は青色、山林などの緑地は緑色に色分けされています。また、浅草寺や神田明神などの有名な寺社には建物や樹木が描かれており、大名の上屋敷には家紋が描かれています。版元の尾張屋は錦絵や草紙類を扱う地本問屋だったため、このようなデザインを重視する絵地図が生まれ、人気を呼びました。



★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



江東区

子どもの成長を見守り支える 「江東区こどもプラザ」

2022年(令和4年)にオープンした「江東区こどもプラザ」は、子育て支援を主目的としたさまざまな機能を備えた施設です。江東区初の「子ども向け複合施設」として、地域の子どもたちの成長を見守り支えています。

子育てを継続的に支援し見守る

「江東区こどもプラザ」は、子ども家庭支援センターやこどもプラザ図書館、地域交流スペースなど、さまざまな機能を備えた江東区初の子ども向け複合施設です。妊娠期から18歳までのすべての子どもと保護者を対象とし、「子どもの健やかな成長を地域とともに継続的に見守り、総合的に支援する」ことをコンセプトとしています。妊娠期から継続的に利用しやすい環境が整っており、子育ての悩みごとを気軽に相談できるスペースを設けるなど、相談支援にも力を入れています。

子どもたちの「居場所」を提供

「住吉子ども家庭支援センター」は、親子で遊べる「子育てひろば」、ひろばで随時対応する「子育て相談」、子どもの一時預かり「リフレッシュひととき保育」の3事業を柱とし、乳幼児親子が安心して過ごせる場所の提供や、保護者の育児負担の軽減、孤立感の解消を図ることを目的とした施設です。

「こどもプラザ図書館」は、妊娠・子育て中の保護者や、乳幼児から中高生世代を対象にした約6万冊の本が揃う図書館です。館内には、親子でくつろげる「絵本コーナー」や友達同士で会話もできる「グループ学習コーナー」もあります。

ほかにも、バスケットボールなどを楽しめる多目的スペースや、さまざまな楽器に触れることができる音楽室などがあり、子どもたちの居場所になっています。

人と人をつなげる地域拠点に

「江東区こどもプラザ」は、自治会やボランティア団体、学校、神社など、地域とのつながりを大切にしたい運営をしています。利用者同士や近隣住民との交流も盛んに行い、地域全体で子どもを育てるという目的に向け歩みを進めています。

同施設は、主に近隣の子育て世代を対象としていますが、図書館の利用など子育て世代以外の利用も可能です。おしゃべりや飲食を楽しめる「地域交流スペース」や、新聞や雑誌等をゆっくり読むことができる「読書サロン」が1階にあり、地域住民の憩いの場となっています。子育て世代はもちろんのこと、それ以外の人たちの利用拡大に努め、0～18歳までの子どもたちの居場所になるとともに、地域の集まりの拠点となる施設を目指します。



▲幼児が自由に遊べる「プレイルーム」



▲運動器具を備えた「多目的スペース」



▲小さな子どもと保護者を対象にした「こどもプラザ図書館」の2F



▲「音楽室」では、楽器の貸し出しも行う



▲児童から中高生を対象にした図書館3F

イベント 10月 こどもプラザまつり

自治会や地域のボランティア、施設で募集した小学生ボランティア、隣接する老人ホーム利用者など、地域と連携して年に一度開催。和太鼓演奏やバザー、ビンゴ大会などイベント盛りだくさんで、昨年は2,831名が来場しました。



江東区こどもプラザ

所在地 江東区住吉1-9-8
開館時間 9:00～20:00(日祝・12/28は～19:00)
休館日 第3金曜(祝日の場合は第3木曜)、12/29～1/4
利用料金 無料(有料の施設あり)
アクセス 東京メトロ半蔵門線住吉駅より徒歩5分
お問合わせ 03-5600-3880



四季のあるみんなの公園

もっと知ろう
楽しもう!



東京23区の公園を特集!
今回は計5区を
ピックアップします!

板橋区



スポーツをより身近に感じ、気軽に楽しめる公園

2020年(令和2年)に大規模改修を行い、スポーツ公園として整備された「小豆沢公園」は、あずさスポーツフィールド周辺、みどりの広場周辺、ボールあそび広場周辺、河岸広場の4つのエリアに分かれています。このうち、あずさスポーツフィールドは、ランニングなどが楽しめ、公園全体が見渡せる楕円型通路のあずさウォークやバスケットボールのハーフコートがある多目的広場、野球場・テニスコート・体育館やプール、遊具などを有し、さまざまなスポーツを楽しむ幅広い層の利用者で賑わっています。



9月には、あずさスポーツフィールドを会場として、20種目以上のスポーツを体験できる「スポーツフェスティバル」が開催されます。園内には、区の花であるニリンソウが自生する崖や水上バスが発着する船着場、ソメイヨシノが咲き花見ができる河岸広場などもあり、一年を通して楽しむことができます。

小豆沢公園

所在地 板橋区小豆沢3-1-1
開園時間 常時開園(スポーツ施設は除く)
休園日 なし
利用料金 無料(スポーツ施設は一部有料)
アクセス 都営三田線志村坂上駅より徒歩5分
お問い合わせ みせりと公園課 03-3579-2525



練馬区



咲き誇るバラや花々を四季を通じて楽しめる

光が丘団地の一角にあり武蔵野の森の面影が残る「四季の香公園」は、「ローズガーデン」が大きな見どころとなっています。2016年(平成28年)に園内にオープンした「香りのローズガーデン」に、「色彩のローズガーデン」と「香りのハーブガーデン」を拡張整備し、2021年に「四季の香ローズガーデン」としてリニューアルオープンしました。6種類の香りや花色ごとに配置した約340品種のバラのほかに、季節の花々やハーブを鑑賞でき、区内外から訪れる人々を楽しませています。



春と秋のバラの開花シーズンには、遠方からの来園者までターゲットを広げ、大きなイベントを開催しています。そのほかにも、イースターやハロウィンなどの時期には季節を感じられるイベントや装飾、フォトスポットを楽しめます。園内の講習棟では、園芸相談や講習会、ワークショップ等を行っております。

四季の香ローズガーデン

所在地 練馬区光が丘5-2-6(四季の香公園内)
開園時間 午前9時～午後5時
休園日 火(祝日の場合は翌日)、春秋のバラの開花時期は無し、12/29～1/3
利用料金 無料
アクセス 都営地下鉄大江戸線光が丘駅 A4出口より徒歩6分
お問い合わせ 事務室 03-6904-2061
園芸相談 03-3976-8787



足立区



遊具で交通ルールを学び、事故防止につなげる

1970年(昭和45年)に開園した「北鹿浜公園」は、交通遊具を利用しながら交通ルールを学ぶことができる交通公園です。自転車や足踏みゴーカート、バッテリーカー、一輪車、三輪車といった交通遊具のほかに、1周約330mのコースを走るミニ列車や鉄道模型のジオラマ、蒸気機関車や消防車の展示などがあり、さまざまな乗り物と接することができます。園内の道路や信号を利用し、子どもたちや保護者を対象にした交通安全に関するイベントを定期的に開催することで、交通事故減少を目指しています。



交通遊具のほかに、タコの滑り台やブランコといった遊具のある広場や、夏に水遊びができるじゃぶじゃぶ池、野球場といった施設もあります。ソメイヨシノが咲くさくら広場での花見やピクニック、大きなイチゴの紅葉鑑賞、ケヤキやクスノキの木陰で休憩など、子どもから大人まで楽しめる公園です。

北鹿浜公園

所在地 足立区鹿浜3-26-1
開園時間 交通広場 11～1月:9:30～16:00、
9～10月、2～4月:9:30～17:00
5～8月:9:30～17:30
休園日 交通広場 12/29～1/3
利用料金 車いす対応トイレ・展示室 夜間及び年末年始
ミニ列車中学生以上70円、小学生30円、バッテリーカー小学生20円、
同乗保護者20円、幼児やその他交通遊具は無料
アクセス 西新井駅より徒歩1分(北鹿浜公園入口下車徒歩2分)
お問い合わせ 北鹿浜公園事務所 03-3897-8030



葛飾区



モンチッチに会える公園として拡張オープン

モンチッチの生みの親として知られる株式会社セキグチの土地を葛飾区が取得し、2015年(平成27年)に公園として整備しました。さらなる魅力と防災性向上を目指し隣接地も取得し、2021年(令和3年)に拡張整備を実施し、モンチッチゾーンとちびっこ広場が新たな設備として加わりました。モンチッチゾーンには、モンチッチのモニュメントやミニミュージアム、トリックアートなどがあり、「モンチッチに会えるまちかつしか」を象徴する公園として親しまれ、多くのひとが訪れています。



拡張整備されたちびっこ広場には、モンチッチゲートやモンチッチスイング遊具などがあり、モンチッチに会える公園として、子どもたちに人気です。新小岩の観光PRのために、公園を活用したデジタルスタンプラリーなどのイベントも開催され、モンチッチファンだけがではなく、幅広い層が楽しめる公園となっています。

モンチッチ公園

所在地 葛飾区西新小岩5-2-4、5-7-7
開園時間 常時開園
モンチッチゾーンのみ
4月～9月:9:00～18:00
10月～3月:9:00～17:00
モンチッチゾーンのみ12/29～1/3
休園日 無し
利用料金 無料
アクセス JR新小岩駅より京成タウンバス上平井町(モンチッチ公園入口)下車徒歩3分
葛飾区公園課 管理運営係 03-3693-1777



江戸川区



動物園や庭園など幅広い層が楽しめる施設が充実

「行船公園」は、東京都から委譲された土地を区立の公園として整備し、1950年(昭和25年)にオープンしました。1983年(昭和58年)に自然動物園が開園し、1989年(平成元年)には公園北側部分を全面改修して平成庭園が開園しました。園内には、無料で楽しめる自然動物園のほかに、池を囲む緑が豊かな築山池泉廻遊式日本庭園の平成庭園、純日本建築の数寄屋造りの源心庵、釣り池、子どもに人気のジャンボスライダーや遊具広場などがあり、区民の憩いの場として親しまれています。



無料で楽しめる自然動物園では、オオアライクイ(上記写真)やベネットワラビー、ファンボルトペンギンなど約58種610頭の動物が飼育展示され、「ふれあいコーナー」ではモルモットやウサギなどとふれあうことができます。日本庭園にある池の畔に建つ源心庵は、茶道や華道、句会、詩吟などの場として活用されています。

行船公園・自然動物園

所在地 江戸川区北葛西3-2-1
開園時間 平成庭園:4～9月/7:00～19:00
10月～3月/8:00～18:00、源心庵:9:00～21:00、
自然動物園:10:00～16:30(土日祝9:30～11～2月～16:00)
休園日 行船公園:無し
自然動物園:月(祝日の場合は翌日)、12/29～1/1
利用料金 無料(源心庵の利用は有料)
アクセス 東京メトロ東西線西葛西駅より徒歩15分
源心庵 03-3675-6442
自然動物園 03-3680-0777



四季のあるみんなの公園

もっと知ろう
楽しもう!

過去の号(Vol.53～55)で紹介してきました施設の一覧です。
「One23」は、特別区協議会のホームページから見る您可以通过。
(<https://www.tokyo-23city.or.jp>)

Vol.53 夏号(2023.7.1発行)

- 千代田区 相板橋児童遊園
- 中央区 坂本町公園
- 港区 有栖川宮記念公園
- 新宿区 新宿中央公園
- 文京区 神明都電車庫跡公園
- 台東区 隅田公園

Vol.54 秋号(2023.10.1発行)

- 墨田区 隅田公園
- 江東区 豊洲ぐるり公園
- 品川区 大井坂下公園
- 目黒区 すずめのお宿緑地公園
- 大田区 大森ふるさとの浜辺公園
- 台東区 桜丘すみれば自然庭園

Vol.55 冬号(2024.1.1発行)

- 渋谷区 北谷公園
- 中野区 平和の森公園
- 杉並区 阿佐谷けやき公園
- 豊島区 南池袋公園
- 北区 荒川緑地一体
- 荒川区 宮前公園

特別区自治情報・交流センターからのご案内

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

特別区競馬組合紹介展示

(仮称)東京シティ競馬(大井競馬場)展

主催 特別区競馬組合、(公財)特別区協議会

期間 令和6年5月11日(土)～7月2日(火)

東京23区「特別区」の紹介動画を配信しています

公益財団法人特別区協議会では、特別区について多くの人に興味と関心を持っていただくために、当協議会のYouTubeチャンネルで東京23区「特別区」の紹介動画を配信しています。

動画では、当協議会のマスコットキャラクターであるとくべつクマ®が案内役となって、特別区の「現在」「制度」「歴史」の3つのテーマについてアニメーションでご紹介しています。



動画はこちらから
ご覧いただけます



特別区自治情報・交流センターのご利用について

- 〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
 - 開館時間:9:30～20:30(土曜日は9:30～17:00)、休館日:日曜日、祝日、年末年始等
- ※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

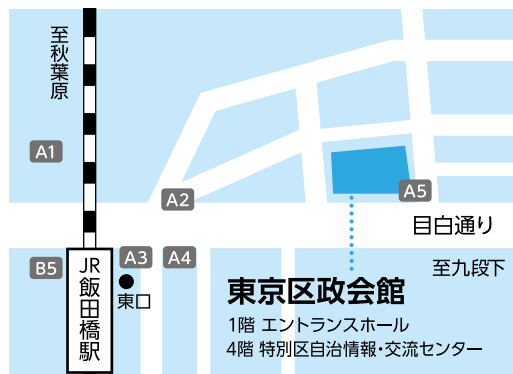
特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

X公式アカウント

@tokubetsukuma23



特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分

編集後記

「四季のあるみんなの公園 もっと知ろう 楽しもう!」をテーマにお届けした区立公園の紹介シリーズは今回で終了となります。過去の発行冊子は「特別区自治情報・交流センター」で配布しています。また、当協議会ホームページからもご覧いただけますので、是非、活用してください。

表紙:江東区こどもプラザ